

【参考】

アンケート調査票

芦屋市教育振興に関するアンケート調査

【一般対象調査票】

ご協力のお願い

～あなたのご意見をお聞かせください！～

市民の皆様には日頃より本市の教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

芦屋市教育委員会では、教育に関する皆様のご意見等をお聞かせいただき、今後の教育のあり方の参考とするとともに、「第3期芦屋市教育振興基本計画（令和3～7年度）」を策定していくうえでの基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査票は市内にお住まいのかたのうち 18 歳以上のかたを無作為抽出して送付しています。ご回答は無記名で個人が特定されることはありません。また、計画策定の他に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、本調査につきましては、集計結果がまとまり次第、市のホームページ等で公表する予定です。

令和2年7月 芦屋市教育委員会

調査票へのご記入に際してのお願い

- ご本人の考えをお聞きしたいので、できるだけご本人が記入してください。ご本人の記入が困難な場合は、ご家族など代わりのかたがご本人の考えをお聞きのうえご記入ください。
- 回答は、**選択肢に○をつけて**お選びいただく場合と、**数字や文章などを**ご記入いただく場合がございます。注意書きに従ってご回答ください。
- 回答は、鉛筆やボールペンでご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**8月11日（火）**までに同封の返信用封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。
- 現在の第2期芦屋市教育振興基本計画（平成28～令和2年度）は、芦屋市ホームページ（<http://www.city.ashiya.lg.jp/kanri/shinkoukeikaku2.html>）に掲載しています。

芦屋市教育振興に関するアンケート調査について

これは教育についてのアンケート調査票です。

英語版のアンケート調査票、またはふりがな付きのアンケート調査票が必要なかたは、ご連絡ください。

芦屋市教育委員会 管理課 e-mail : kanri_kanri@city.ashiya.lg.jp

Survey on the Promotion of Education in Ashiya

If you need either an English version or a Japanese with *furigana* version of the questionnaire, please contact the office below:

Board of Education Management Section
e-mail : kanri_kanri@city.ashiya.lg.jp

■お問い合わせ

芦屋市教育委員会
管理課

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号
電話：0797-38-2085 FAX：0797-38-2166

あなた自身のことについておうかがいします。

問1 あなたの性別を教えてください。（ひとつだけに○）

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 3. 1, 2 にあてはまらない | 4. 答えたくない |

問2 あなたの年齢を教えてください。（令和2年4月1日現在）（ひとつだけに○）

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳以上 | | |

問3 あなたと一緒に暮らしている家族構成は次のうちどれですか。（ひとつだけに○）

- | | | |
|-----------------|---------|---------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯家族（親と子） |
| 4. 三世帯家族（親と子と孫） | 5. その他（ | ） |

問4 あなたにお子様はいらっしゃいますか。（あてはまるすべてに○）高校生までのお子様がいいらっしゃる場合は、お子様の年齢（令和2年4月1日現在）を教えてください。（お子様が複数名いらっしゃる場合は、最年少のお子様の年齢を教えてください。）

- | | | |
|------------|------------|---------|
| 1. 就学前 | } ⇒お子様の年齢（ | 歳） |
| 2. 小学生 | | |
| 3. 中学生 | | |
| 4. 高校生 | | |
| 5. 大学生・社会人 | 6. 子どもはいない | 7. その他（ |

問5 あなたの現在の職業は何ですか。（ひとつだけに○）

- | | | |
|--------------|--------|------------|
| 1. 会社員 | 2. 公務員 | 3. 自営・自由業 |
| 4. パート・アルバイト | 5. 農林業 | 6. 専業主婦・主夫 |
| 7. 学生 | 8. 無職 | 9. その他（ |

問6 あなたのお住まいの地域（公立中学校区）はどこですか。（ひとつだけに○）

- 山手中学校区（国道2号線以北）
- 精道中学校区（国道2号線以南、臨港線以北）
- 潮見中学校区（臨港線以南）

教育や学習に関する取組についておうかがいします。

問7 あなたは、芦屋市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。
(主なもの3つに○)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 思いやりがある | 2. 協調性がある |
| 3. 確かな学力がある | 4. 他人を認められる |
| 5. 心身がたくましい | 6. 我慢強さがある |
| 7. 自立心がある | 8. 自ら学び、考え、主体的に行動する力がある |
| 9. 創造性が豊かである | 10. 適切な判断力がある |
| 11. 特にない | 12. わからない |
| 13. その他 () | |

問8 あなたが子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。(主なもの3つに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 子どもたちの学力の低下 | 2. 子どもたちの道徳心や規範意識などの低下 |
| 3. 子どもたちの健康状態や体力の低下 | 4. 子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ |
| 5. 子どもたちの問題行動やいじめ・不登校 | 6. 家庭環境などによる教育格差 |
| 7. 家庭の教育力の低下 | 8. 地域の教育力 [※] の低下 |
| 9. 学校・家庭・地域の連携 | 10. 幼(保)・小・中学校間の連携 |
| 11. 学校の施設や設備 | 12. 教職員の指導力の低下 |
| 13. 特にない | 14. わからない |
| 15. その他 () | |

※ 地域の教育力：地域は子どもにとって、様々な年齢層や立場の人々と触れ合うことで、社会経験を積み重ね、社会性や公共性を育てることができる「場」であり、その意味からも地域における教育は重要と考えられています。

問9～問17については、高校生までのお子様がいいらっしゃるかのみ回答してください。
それ以外のかたは、問18以降を回答してください。

問9 あなたは、芦屋市の就学前教育の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。(主なもの3つに○)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 基本的な生活習慣の育成 | 2. あいさつやルールを守る規範意識の育成 |
| 3. 小学校への円滑な移行のための教育 | 4. 子どもの主体性・思考力を伸ばす教育の充実 |
| 5. 保育士・幼稚園教諭の資質・保育力の向上や職員体制の充実 | |
| 6. 施設・環境(園舎、遊具など)の充実 | |
| 7. 認定こども園 [※] の推進 | |
| 8. 預かり保育や園庭開放などの子育て支援機能の強化 | |
| 9. 就学前教育・保育施設間の連携 | 10. 家庭の教育力の向上 |
| 11. 特にない | 12. わからない |
| 13. その他 () | |

※ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能や特徴を合わせ持ち、地域の子育て支援も行う施設

問10 あなたは小・中学校に対してどのようなことを望みますか。(主なもの3つに○)

1. 教育に対する責任感や愛情を持って接すること
2. わかりやすい授業を工夫すること
3. 生活習慣や社会規範の手本となり指導すること
4. 子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること
5. 子どもや保護者の相談に快く応じてくれること
6. 担当教科に関して専門的な知識を持つこと
7. 子どもに公平に接すること
8. 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持つこと
9. 部活動や体育等の基礎的な体づくりを熱心に指導すること
10. 自尊心やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと
11. 特にない
12. わからない
13. その他 ()

問11 あなたは、特別支援教育の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。(主なもの3つに○)

1. すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実
2. 乳幼児期からの支援体制の整備
3. 子どもの実態に応じた相談体制の強化
4. 特別支援学級等での専門的な教育の充実
5. 教職員の専門性の向上
6. 子どもの個性を伸ばす支援
7. 学校環境のユニバーサルデザイン化
8. 障がいに対する理解を深めるための学習の充実
9. タブレットなどによるオンライン授業
10. 特にない
11. わからない
12. その他 ()

問12 あなたは、いじめや不登校などを防ぐためにはどのようなことが必要だと思いますか。(主なもの3つに○)

1. 教職員が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること
2. 保護者が子どもを見守り、実態を把握すること
3. 教職員がいじめ等の問題行動に対して厳しく指導すること
4. わかる授業、楽しい授業を教職員がめざすこと
5. 地域で子どもたちを見守り、注意するなど、地域の教育力を高めること
6. 専門の相談員(スクール・カウンセラー)に、いつでも悩みを相談できること
7. 学校と警察や子ども家庭センター等の関係機関との連携を強化すること
8. 学校において道徳教育の充実を図ること
9. 子どもにとって学校が楽しい場所であること
10. 学校と家庭との連携を強化すること
11. 特にない
12. わからない
13. その他 ()

問13 あなたは、安全・安心な学校や幼稚園・保育所(園)・認定こども園生活のために、今後特に力を入れていくべきものは何だと思いますか。(ひとつだけに○)

1. 施設の安全対策
2. 不審者の侵入対策
3. 交通安全・防犯対策等の教育
4. 防災・防犯訓練の充実
5. 登下校(登降園)時の見守り
6. 特にない
7. わからない
8. その他 ()

問14 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(ひとつだけに○)

項目	かなり少・低下している	少し少・低下している	変化なし	少し増加・向上している	かなり増加・向上している
① 学校における児童・生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導	1	2	3	4	5
② 学校における情報機器を活用した授業	1	2	3	4	5
③ いじめや暴力行為	1	2	3	4	5
④ 不登校の児童・生徒	1	2	3	4	5
⑤ 家庭での生活体験の機会(家庭でのしつけやお手伝いなど)	1	2	3	4	5
⑥ 家庭環境の多様化(核家族、単身赴任、親の深夜労働等)	1	2	3	4	5
⑦ 家庭と地域の結びつき	1	2	3	4	5
⑧ 子どもと高齢者がふれ合う機会	1	2	3	4	5
⑨ コミュニケーション能力の必要性	1	2	3	4	5
⑩ 語学力の必要性	1	2	3	4	5
⑪ その他 ()	1	2	3	4	5

問15 次の教育施策や教育事業について、あなたは、今後芦屋市で力を入れて行う必要があると思いますか。(①~⑳の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけに○)

項目	1 特 に 充 実 す べ き	2 充 実 す べ き	3 現 状 と 同 じ	4 充 実 が し て い ない	5 充 実 が し て い ない
① 子どもたちが、「わかる」と実感できる授業の実施	1	2	3	4	5
② 少人数・習熟度別学習など、多様な形態での学習の実施	1	2	3	4	5
③ コンピュータなどのICT機器を活用した授業の推進	1	2	3	4	5
④ 情報モラル教育の推進(携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方)	1	2	3	4	5
⑤ 外国語教育の充実	1	2	3	4	5
⑥ 学校園における読書の取組の推進	1	2	3	4	5
⑦ 家庭・地域と一体となった「読書のまちづくり」の推進	1	2	3	4	5
⑧ 豊かな心をはぐくむ道徳教育の推進	1	2	3	4	5
⑨ 阪神・淡路大震災を風化させないなど、防災教育の実施	1	2	3	4	5
⑩ いじめや暴力行為などの解消を図る取組の推進	1	2	3	4	5
⑪ 不登校児童生徒へのケアや支援の充実	1	2	3	4	5
⑫ 障がいの有無に関わらず子どもたちが共に学ぶことができる仕組みづくり	1	2	3	4	5
⑬ すべての子どもが公平で質の高い教育を受けられる支援の充実	1	2	3	4	5
⑭ 子どもの体力向上の取組の充実	1	2	3	4	5
⑮ 学校給食の充実(食育を含む)	1	2	3	4	5
⑯ 小学校と中学校との連携の推進	1	2	3	4	5
⑰ 幼稚園、保育所(園)、認定こども園と小学校との連携の推進	1	2	3	4	5
⑱ 認定こども園の推進	1	2	3	4	5
⑲ 発達や学びの連続性をふまえた幼児教育の推進	1	2	3	4	5
⑳ 学校園・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取組の充実	1	2	3	4	5
㉑ 地域や児童生徒の実態や課題に応じた人権教育の推進	1	2	3	4	5
㉒ 地域の指導者等を活用した授業の実施	1	2	3	4	5
㉓ 家庭・地域の教育力向上を図るための講演会、講座、フォーラムの充実	1	2	3	4	5
㉔ 教職員の資質や指導力の向上	1	2	3	4	5
㉕ 放課後や土曜日などを活用した教育活動の実施	1	2	3	4	5
㉖ 学校園の適正規模や適正配置*についての検討	1	2	3	4	5
㉗ 学校校舎・施設の老朽化対策の実施	1	2	3	4	5
㉘ 子どもの通学路の安全確保に係る取組の実施	1	2	3	4	5

* 学校園の適正規模や適正配置： 少子化が進む中、学校や幼稚園において、どの程度の規模や人数で教育を行うことが望ましいのかを考えていくこと

問 16 地域に開かれた学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。(主なもの3つに○)

1. 学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する
2. 学校の教育目標や取組を、地域の方々知らせる
3. 特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する
4. ゲストティーチャー*や部活動の指導者など、外部の人を学校に招く
5. 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる
6. 地域の施設などを利用した校外学習を進める
7. 地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する
8. 教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する
9. 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する
10. 特にない
11. わからない
12. その他 ()

※ ゲストティーチャー：より専門性の高い授業の実現を図るため、各学校の要請を受けて外部から来校して、児童・生徒の指導を行う人のこと

問 17 あなたは、芦屋市の教育や子育てに関する情報をどこで得ていますか。
(あてはまるすべてに○)

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 家族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 保育士・幼稚園や学校の先生 | 4. 市の広報紙 |
| 5. 市のホームページ | 6. 教育委員会のホームページ |
| 7. 園や学校、PTA等からのたより(ミマモルメなどの学校園連絡メールを含む) | |
| 8. 園や学校のホームページ | |
| 9. 新聞・雑誌 | 10. テレビ・ラジオ |
| 11. インターネット | 12. 特にない |
| 13. その他 () | |

ここからはすべてのかたが回答してください。

問 18 あなたは、家庭教育にとってどのような取組が必要だと思いますか。(主なもの3つに○)

1. 子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ機会を設ける
2. 保護者同士が教育について話し合える機会をつくる
3. しつけや教育について相談できる場所をつくる
4. 子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす
5. 家族の団らんの場をつくる
6. 朝食、マナーなど食の大切さの理解を深める
7. 携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める
8. 特にない
9. わからない
10. その他 ()

問 19 あなたは地域に関心がありますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. とても関心がある | 2. どちらかといえば関心がある |
| 3. どちらかといえば関心がない | 4. 関心がない |

問 20 あなたは、「地域の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。
(主なもの3つに○)

1. 地域の大人が子どもたちに関心を持ち、ほめたり注意したりする
2. 子ども同士が、地域で遊んだりスポーツ活動などができるようにする
3. 家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする
4. 地域活動や行事などを活発にする
5. 子どもの見守りを充実させ、子どもたちが安心して遊べるようにする
6. 伝統芸能や文化を子どもたちに伝えていく
7. 特にない
8. わからない
9. その他 ()

問 21 普段、あなたは地域の子どもとどのように接していますか。
(あてはまるすべてに○)

1. 出会ったときはあいさつをしている
2. 出会ったときは声をかけたり話をしたりしている
3. 良いことをしているところを見たときはほめている
4. 悪いことをしているところを見たときは注意している
5. 困ったときや悩んでいるときに相談にのっている
6. 子ども会などの地域活動を一緒にしている
7. 子どもたちにスポーツ活動・文化活動などの指導をしている
8. 地域の祭りやイベントでふれあっている
9. かかわりたいが、かかわっていない
10. かかわるつもりはない
11. その他 ()

問 22 あなたは、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。
(あてはまるすべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 自分が持つ知識・技能を教える | 2. 通学路における登下校時の見守り活動 |
| 3. 部活動の指導 | 4. 花壇や植え込みの手入れなどの環境整備 |
| 5. 読み聞かせや図書の整理・貸出し | 6. 運動会や文化祭など学校行事の支援 |
| 7. 習字や調理実習指導の補助などの学習支援 | 8. 昔遊びなどを通じた交流 |
| 9. 上記以外のボランティア活動 () | |
| 10. 協力したいことはない | |
| 11. その他 () | |

地域や家庭で行う学習活動などについておうかがいします。

問 23 あなたは現在、仕事や家事、学業のほかに、学んだり活動していること（以下、「学習活動」という。）がありますか。(あてはまるすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 文化・芸術活動に関するもの | 2. 職業や資格に関するもの |
| 3. 教養を高めるもの | 4. 日常生活・家庭生活に役立つもの |
| 5. 市民生活を高めるもの | 6. スポーツに関するもの |
| 7. 野外レクリエーションに関するもの | 8. 特にない |
| 9. その他 () | |

学習活動を行っている人のおうかがいします。

問 23-1 あなたは、どのような場所で学習や活動をされていますか。
(あてはまるすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 1. 市民センターやあしや市民活動センター（リードあしや） | |
| 2. 図書館 | |
| 3. 市内の学校園（幼稚園、小学校、中学校など） | 4. 市内の体育施設（体育館、公園など） |
| 5. 市内の社会福祉施設（保健福祉センター、保育所、高齢者施設など） | |
| 6. 市内の集会所 | |
| 7. 市内の博物館・美術館 | 8. その他市内の公共施設 |
| 9. 市内の民間施設 | 10. 自宅 |
| 11. 知人・友人宅 | 12. 市外 |
| 13. その他 () | |

学習活動を行っている人のおうかがいします。

問 23-2 あなたは、学習や活動を通じて身につけた知識や技能、経験をどのように生かしていますか。(あてはまるすべてに○)

1. 仕事や就職のうえで生かしている
2. 資格を取得した
3. 日常生活や地域での活動に生かしている
4. 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの手助けをしたり、指導することに生かしている
5. 自分の人生をより豊かにし、生活に張りを与えることに生かしている
6. 新しい友人を増やし、人間関係を広げるうえで生かしている
7. 健康保持、体力増進に生かしている
8. ストレス解消に生かしている
9. 特にない
10. その他 ()

学習活動を行っている人のおうかがいします。

問 23-3 学習成果をボランティアとして生かすことについてどのように考えますか。
(ひとつだけに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. すずんで生かしたい | 2. あまり生かしたくない |
| 3. 要請があれば生かしてもよい | 4. わからない |

ここからはすべてのかたが回答してください。

問 24 あなたが今後、仕事や家事、学業のほかに、学んだり活動したいと思うものはどのようなことですか。(あてはまるすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 文化・芸術活動に関するもの | 2. 職業や資格に関するもの |
| 3. 教養を高めるもの | 4. 日常生活・家庭生活に役立つもの |
| 5. 市民生活を高めるもの | 6. スポーツに関するもの |
| 7. 野外レクリエーションに関するもの | 8. 特にない |
| 9. その他 () | |

問 25 リカレント教育[※]や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関等で学習したいと思いますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. すでに学習している | 2. 今後学習してみたい |
| 3. 環境が整備されれば学習してみたい | 4. 学習したいと思わない |

※ リカレント教育：義務教育または基礎教育の修了後、生涯にわたって教育と他の諸活動（労働、余暇など）を交互に行う教育システムのこと。スウェーデンやフランスの有給教育制度、アメリカ合衆国のコミュニティ・スクール、日本の夜間制社会人大学院、放送大学などがその例である。

問 26 普段、平均してどれくらい本を読みますか（電子書籍を含む）（雑誌、漫画は除く）
(ひとつだけに○)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| 1. 週に数冊 | 2. 週に1冊程度 | 3. 2～3週間に1冊程度 |
| 4. 1か月に1冊程度 | 5. 2～3か月に1冊程度 | 6. 半年に1冊程度 |
| 7. 1年に1冊程度 | 8. それ以下 | 9. 本を読むことはない |

問 27 芦屋市内の図書館をどのくらい利用しますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に2～4回くらい |
| 3. 週に1回くらい | 4. 月に2～3回くらい |
| 5. 月に1回くらい | 6. 年に2～3回くらい |
| 7. ほとんど利用しない | 8. 利用したことがない |

問 28 芦屋市内の図書館の満足度を教えてください。(ひとつだけに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 満足 | 2. まあまあ満足 |
| 3. どちらともいえない | 4. やや不満 |
| 5. 不満 | 6. わからない |

問 29 芦屋市立図書館を利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか。
(主なもの3つに○)

1. 新しい資料（新刊図書や雑誌）を充実させる
2. 調べものに役立つ本を充実させる
3. 読書や調べものができるスペースを広く確保する
4. 休館日や開館時間を見直す
5. 利用方法や催し、新刊情報などについて積極的に広報する
6. インターネットなどを利用した予約や延長申請などができるようにする
7. 利用者が相談しやすい専門職員をおく
8. 各種催し物を充実（おはなし会・講座・講演会・企画展示コーナー設置等）させる
9. 特にない
10. その他 ()

**新型コロナウイルス感染症が与える子どもたちの教育への影響
についておうかがいします。**

問 30 社会問題となっている新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。
現在の状況下における芦屋市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。(主なもの3つに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 子どもたちの学力の低下 | 2. 子どもたちの道徳心や規範意識などの低下 |
| 3. 子どもたちの健康状態や体力の低下 | 4. 子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ |
| 5. 子どもたちの問題行動やいじめ・不登校 | 6. 家庭環境などによる教育格差 |
| 7. 安全・安心な学校づくりのための感染症対策 | 8. 特にない |
| 9. わからない | |
| 10. その他 () | |

問 31 芦屋市の教育を高めることに対して、今後特に力を入れていくべきことは何だと思
いますか。ご意見・ご提案等、自由にお書きください。

①就学前の幼稚園、保育所（園）、認定こども園における教育

②小中学校における教育

③地域における教育

④家庭における教育

質問は以上です。

記入もれがないかももう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、封をして切手
を貼らずに8月11日（火）までにポストに投函してください。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。